

## 第3学年3組 外国語科学習指導案

### 1 題材 「Presentation 3 自分の中学校生活についてALTの先生に伝えよう」

### 2 指導観

- この題材では、中学校生活について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、これまで学んできた語句や文を用いて、ひとまとまりの英語の文章を書いてALTに伝える場を設定する。英語力と人間性の双方を高めるため、生活を振り返り大事な場面を選び「努力してきたこと、感謝や謝罪の気持ちを伝えたいこと」の2つに分けて書かせたい。こういった中学校生活の様々な場面を英語で書いてALTに話したり、他者の発表を聞いたりすることで、基本動詞を中心とする英語の日常表現を復習し習熟する機会となる。また、動詞の現在形と過去形・助動詞・不定詞・動名詞・接続詞・比較表現・受け身・現在完了などを使い自分の体験を書くことで、英語の土台となる基本文法を復習し習熟する良い機会となる。さらに、大事な場面を選んで英訳することで、自分を見つめ、家族や友達がしてくれたことの意味を再考する契機になる。事実や自分の考え・気持ちをひとまとまりの英文にして発表する力を高めると同時に、家族や友達との出会い直しができるような学習にしたい。
- 本学級の生徒は、学力差が大きい。また、7月に行われた英検 IBA で、3級以上の力があると判定された生徒が9名、4級程度が14名、4級に達しない生徒が10名であった。また、定期考査で、5文以上のひとまとまりの英語を書く問題では、13人がほぼ無回答であった。日常的話題で使う基本動詞の使い方が十分に身につけていない生徒への支援と、短い一文が書いても文章で表現できない生徒に、まとまりのある英語の文章で書かせるための支援が必要である。

生徒はこれまでに、日常生活を振り返り、「自分がしたこと、他者がしたこと」「他者にしてもらったこと（感謝）、他者にしてしまったこと（謝罪）」をできるだけ多く思い出し、既習の基本動詞を使った英語で書き出す取り組みを続け、それを「私の日常表現集」としてまとめている。この単元では、その中から、大事な場面を選んで、「努力してきたこと」「感謝や謝罪の気持ちを伝えたいこと」の2つに分け、まとまりのある文章で書かせ発表させたい。
- 指導にあたっては、以上を踏まえて次の手立てをとる。
  - (1) 発表のイメージをつかませるため、単元の始めにJTEとALTがモデルを示す。
  - (2) 既習語彙と文法を復習し定着させ、英語による「やりとり」の力を高めるため、授業の最初に、基本語彙と基本文法が入った音読や英会話の練習をさせる。
  - (3) 大事な場面を思い出して選ぶことができるよう、生徒が自作した「私の日常表現集」を使う。
  - (4) まとまりのある文章を書く力をつけるため、「中学校生活で努力してきたこと」について、5文程度の英作文を書く活動を行う。この際、英問英答式の構想表を準備し、それに書き込むことでひとまとまりの英語ができるような学習プリントを準備する。
  - (5) まとまりのある文章を書く力と生活を振り返る力を伸ばすため、「私の日常表現集」の中から複数の場面を選び、「感謝や謝罪」をテーマにした英語を書かせる。
  - (6) 発表する力をつけるため、(4)と(5)で書いた英語をペアで交流した後ALTに伝える場を設定する。

### 3 単元の目標

- 中学校生活についての教科書のモデル文の内容と構成を理解することができる。(知識・技能)
- 中学校生活を思い出して「中学校生活で努力したこと、感謝や謝罪を伝えたいこと」をひとまとまりの英語の文章で表現することができる。(思考力、判断力、表現力等)
- ALTに自分の中学校生活について話そうとする意欲をもつことができる。また、中学校生活を思い出して、英語で表現していく過程で、身近な人が自分にしてくれたことの意味を考えることができる。(学びに向かう力、人間性等)

4 単元指導計画（全5時間）

知識及び技能…〔知〕 思考力、判断力、表現力等…〔思〕 学びに向かう力、人間性等…〔学〕

次	時	学習活動・学習内容	ねらいと具体的な支援	評価の観点（方法）
一	2	1 中学校生活についてのモデル文の内容と構成をつかむ。 (1) ALT の話を聞き本題材の内容を理解する。 (2) JTE と ALT の「中学時代努力したこと」を聞く。 (3) 教科書のモデル文「バレエ部で努力した佳奈のスピーチ」を読み、自分が「努力したこと」を書く題材を決める。 (4) JTE と ALT の「感謝や謝罪」をテーマにした Thank you, ---や Sorry, ---のモデル文を聞いて、自分が発表する題材を、「私の日常表現集」から選ぶ。	中学校生活について話すために内容と構成についての課題を設定することができる。 ・構成を意識させるため、「佳奈がしてきたこと」「一番の思い出」「これからしたいこと」に分けて内容をつかませる。 ・「毎日繰り返している、普段の日常生活の中にこそ、重大な意味がある」ことに気づかせるため、普段、家族がしてくれていることの大切さに気づくような、英語を読み聞かせる。	・教科書のモデル文の内容と構成を理解することができる。 [知]：学習プリント
二	2	2 自分の中学校生活について原稿をつくり交流する。 (1) 「努力したこと」を書きペアと班で交流する。 ・構想表を書く。 (※何に努力したか、具体的な場面、一番の思い出、まとめの一文) ・発表原稿を書く。 ・ペアと班で原稿を読み合い練習する。	「中学校生活で努力したこと、感謝や謝罪を伝えたいこと」をひとまとまりの英語の文章で書くことができる。 ・場面と書く順序が整理された英語を書かせるため、構想表を準備する。 ・発表原稿を練り合うために、ペアと班で、交流する時間を持つ。	・中学校生活で「努力したこと」について正しい英語で書くことができる。 [思]：構想表と学習プリント
本時 1 / 2		(2) 「感謝や謝罪」をテーマにした英語を書き、ペアと班で交流する。 ・構想表を書く。(※具体的な場面、いつのことか、だれに対してか) ・発表原稿を書く。 ・ペアと班で原稿を読み合い練習する。	・大事な場面を思い出して選ばせ、順序良く整理して書かせるため、思考ツールとして、内観シートを使用する。 ・発表原稿を練り合うために、ペアと班で、交流する時間をもつ。	・中学校生活で「感謝や謝罪」を伝える英語で書くことができる。 [思]：内観シートと学習プリント
	三	1	3 中学校生活で「努力したこと」「感謝や謝罪」について書いた英語を発表する。 (1) 個人で練習をする。 (2) 学級や ALT に発表する。	中学校生活で「努力したこと」「感謝や謝罪」について書いた英語を気持ちが伝わるように発表することができる。

5 本時 令和元年11月15日(金) 第5校時 3年3組教室において

(1) 本時の指導観

本時は、「感謝や謝罪」をテーマに「中学時代の身近な人との大事な一コマ」を英語にする時間である。前時までに生徒は、日本語で書いてきた日記やつづり方を参考にしながら、中学校生活を振り返って「自分がしたこと、してもらったこと」を英語で書き、「私の日常表現集」として完成させている。本時はその中から「感謝や謝罪」をテーマにした複数の場面を選び、まとまりのある英語の文章を書かせる。まず、生徒の関心意欲を高めるため、テーマに関連した音読練習と英会話練習をさせる。つぎに、大事な場面を思い出して選ばせ、順序良く整理して書くようにする。ここでは、思考ツールとして、内観シートを使う。最後に振り返りを行い、「日常的な話題について英語で表現するとき、学習してきた基本動詞を用いれば英語表現ができるということ」と「普段の日常生活の中にこそ、重大な意味があること」に気づかせたい。

(2) 本時の主眼

- ・中学校生活を振り返り「感謝や謝罪」の場面をまとまりのある英語の文章で書くことができるようにする。

(3) 準備

- ・私の日常表現集 ・内観シート ・振り返りシート

(4) 展開 (ゴシック…思考ツールの活用場面)

段階	学習活動・学習内容	具体的な支援	評価の観点 (方法)
つ か む ／ さ ぐ る ／ 深 め る ／ 見 つ め 直 す	<p>1 基本動詞の復習になる、基本英文の音読練習と英会話練習を行う。</p> <p>2 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">生活を振り返り、家族や友達との大事な場面を選び、まとまりのある文章を書く。</div> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「ありがとう」と「ごめんなさい」の気持ちが伝わる英語を書こう。</div> <p>2 感謝と謝罪の英語を書く。</p> <p>(1) 前時までに書いた「私の日常表現集」から複数の場面を選ぶ。</p> <p>(2) 下書きを書く。</p> <p>例：April. Thank you, Mother. You took me to a doctor. May. Sorry, Father. I talked back to you. June. Thank you, Grandma. You wiped my tears.</p> <p>3 書いた英語を推敲して交流する。</p> <p>(1) ペアで練り合い、発表の練習をする。</p> <p>(2) 班で発表する。</p> <p>4 本時のまとめと振り返りを行う。</p> <p>(1) 本時のまとめを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">①これからも、「私の日常表現集」を増やして使える英語の幅を広げよう。 ②日常生活で、身近な人がしてくれたことの意味を考える生活をしよう。</div> <p>(2) 『思考力・表現力 up のためのスキル表』を活用し、学習の過程でわかったことやわからないことを書き、発表する。</p>	<p>○生徒の関心意欲と会話力を高めるため、ALT が主導する。</p> <p>○大事な場面を思い出し、場面と書く順序を整理させるため、思考ツールとして、内観シートを使わせる。</p> <p>○ペアの会話を円滑にするため、「あいづちカード」を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自己内対話で目指す姿</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">①基本動詞が入った「私の日常表現集」を作り活用することで、自分の身近な生活を英語で表現することが容易になることに気づいた。 ②日常生活を思い出して英語表現していく過程で、あたり前と思っていた日常に大事なことが含まれていることや、自分がまわりの人に支えられて生きてきたことに気づいた。 ③班の友達が発表した「感謝・謝罪」は自分も共感できる場面があった。</div>	<p>・中学校生活で「感謝や謝罪」の場面をまとまりのある英語の文章で書くことができる。</p> <p>[思]:内観シートと学習プリント</p>